

寛容さが人類助ける

米国のパリ協定離脱により、地球温暖化防止に向けた国際的な取り組みが後退する懸念が強まっている。今年12月にポーランドで開催予定の国連気候変動枠組条約第24回締約国会議(COP24)は、パリ協定の運用ルールを決める節目を迎える。アマンソン熱帯雨林の保護やパリ協定の重要性を訴えてきたブラジルの元環境相 マリナ・シルバさんは現状と地球の未来をどうみているのか、書面インタビューした。



昨年、核兵器禁止条約が採択されましたが、日本は賛成していません。唯一の被爆国として、日本は核兵器廃絶を求め、政治的・倫理的な権限を持つべき国はあります。残虐な行為を人類史上、繰り返さないための世界の活動に対する主要な擁護者でなくてはなりません。

米のパリ協定離脱——温暖化防止後退の懸念強まる

◆温暖化対策は国レベルでは進展する兆しが見えず、後退も目立ちます。米国のパリ協定を離脱しました。ブラジルも(シルバさんが環境相時代に整備した)環境法に基づく制度やガバナンスが弱体化し、アマンソンの森林伐採は2012年から45%増加、16年の二酸化炭素(CO₂)排出量は前年より8.9%も増えています。

ブラジルの元環境相 マリナ・シルバさんインタビュー



生活向上へ日本人奔走

「健康な牛がもたらすミルクが風味と栄養の豊富なチーズのもとになる」と話すのはイタリアの「グラナ・パダーノ」のグラナ・パダーノ伊のグラナ・パダーノ「健康な牛がもたらすミルクが風味と栄養の豊富なチーズのもとになる」と話すのはイタリアの「グラナ・パダーノ」のグラナ・パダーノ伊のグラナ・パダーノ

「製造の取り組みなどを報告した。グラナ・パダーノはロンバルディア州など五つの地域で生産される限定チーズ。欧州連合(EU)の地理的表示保護の対象に、乳製品として初めて認定(1996年)された。協会の役割は生産量を適切にコントロールすること。牛は放牧が原則で飼料に関する規定もある」とシルバさん。



GBMからオリコに感謝状

ケニアの植林NGO「グリーンベルト運動」(GBM)からオリエンタル・コーポレーション(東京都千代田区、河野雅明社長)に贈られた感謝状の伝達式が17日、同社で行われた。同社は2006年からMOTTAINAIカードを発行。買い物をするたびに利用額の0.5%が同運動の植樹活動に寄付される。感謝状を受け取った渡辺健一執行役員は「新しいカードは評判が良い。今後も地道に支援活動を続けていきたい」と話していた。

モザンビークに電子マネー



合田真さん

アフリカ南東部の開発途上国モザンビークで、日本人が電子マネーによる金融システム作りを奔走している。日本植物燃料(本社・神奈川県小田原市)社長の合田真さん(42)。利用履歴が記録できるため、農業資材の普及を促す国連食糧農業機関(FAO)がこのシステムを使って補助金を支給するなど期待が集まっている。



所屬政党の全国総会に登壇するシルバさん。この日、年秋の大統領選挙に立候補することを発表した。シリビアは昨年12月、レオ・カラル氏撮影

特産黒豚の油脂で美容クリーム開発

鹿児島・志布志「香り工房てこ」



鹿児島の特産・黒豚(しゃぶしゃぶやトシカツ)は、黒豚の旨みやコク、高い栄養価で人気だが、その油脂を引き立てていると評判や美容クリートの研究を呼んでいる。



黒豚油脂から作ったクリーム

「開発に取り組んでいるのが、同県志布志市の「香り工房てこ」(中島真志子代表)だ。同社は畜産が盛んな大隅半島の地産地消を推進し、2004年に黒豚の熟成肉の薫製をスタート。塩だけでの製法にこだわりの添加物は一切使用しない。肉本来の味が引き立てられていると評判や美容クリートの研究を呼んでいる。

The future Runs on Hydrogen

この宇宙にもっとも豊富にあると言われる水素。太陽光、風力、地熱など、再生可能なエネルギーを使うことでCO₂を排出することなく、水を電気分解して作ることができます。水素で走るトヨタのMIRAI。使い勝手と走る喜びはそのままに、排出されるのは水だけ。環境にとってもやさしいクルマ、MIRAIはトヨタが描く未来の形です。

Meet the Future

TOYOTA
toyota.co.jp